



アジア太平洋地域の国際/各国プラットフォームの連携の可能性を探る

BKE ヨーロッパ-日本, 第2日目セッション, 2021年6月29日、30日

増富 祐司

国立環境研究所 気候変動適応センター

セッションの目的と本日の内容

国を超えた適応取り組みを促進するCAPプラットフォームの活用を拡大するには

- **第一部:** アジア太平洋地域の気候適応プラットフォームと機関の例 (1時間)
 - **日本、オーストラリア, 太平洋地域, フィリピン, 韓国, 台湾**
 - 主な問い: 地域を超えた連携におけるCAPの意義とは?
- **第二部:** 総合討論 (1時間)
 - モデレータ Kim van Nieuwaal
 - 主な問い:
 1. アジア太平洋地域での適応活動を促進する国際適応プラットフォーム/各国のプラットフォームの活用方法とは?
 2. アジア太平洋地域での適応活動を促進するために国際適応プラットフォーム/各国のプラットフォームに必要な機能・コンテンツとは?
 3. 国際適応プラットフォーム/各国のプラットフォームと国際機関との効果的な協働の方法とは?

第一部: アジア太平洋地域の気候適応プラットフォームと機関の例

日本: 岡 和孝主任研究員@NIES、AP-PLAT 及び A-PLAT

Australia: ジェフ・ゴレー氏@CSIRO

Pacific: オファ・カイザミー氏@PCCC、SPREP

Philippines: マリアナ ヴァーガス-モラーダ氏, eCCET

Korea: ヨンイル ソン氏@KACCC

Taiwan: ヒシン-チ リ氏@TCCIP

• 地域を超えた連携におけるCAPの意義とは?

1. アジア太平洋地域のプラットフォームが連携することの利点は?
2. 地域でネットワークを構築することの課題は?
3. 地域別の構築を主導するために必要な視点とは?

第2部: Q1 アジア太平洋地域での適応活動を促進する国際 適応プラットフォーム/各国のプラットフォームの活用方法 とは?

ユーザー



産業



市民社会



政策決定者

分野



水



災害



生活



農業



生態系



健康



産業

- 複数のユーザー/ステークホルダー及び分野
- 多様な文化、気候、言語、宗教、経済…

第2部: Q2 アジア太平洋地域での適応活動を促進するために 国際適応プラットフォーム/各国のプラットフォームに必要な 機能・コンテンツとは?

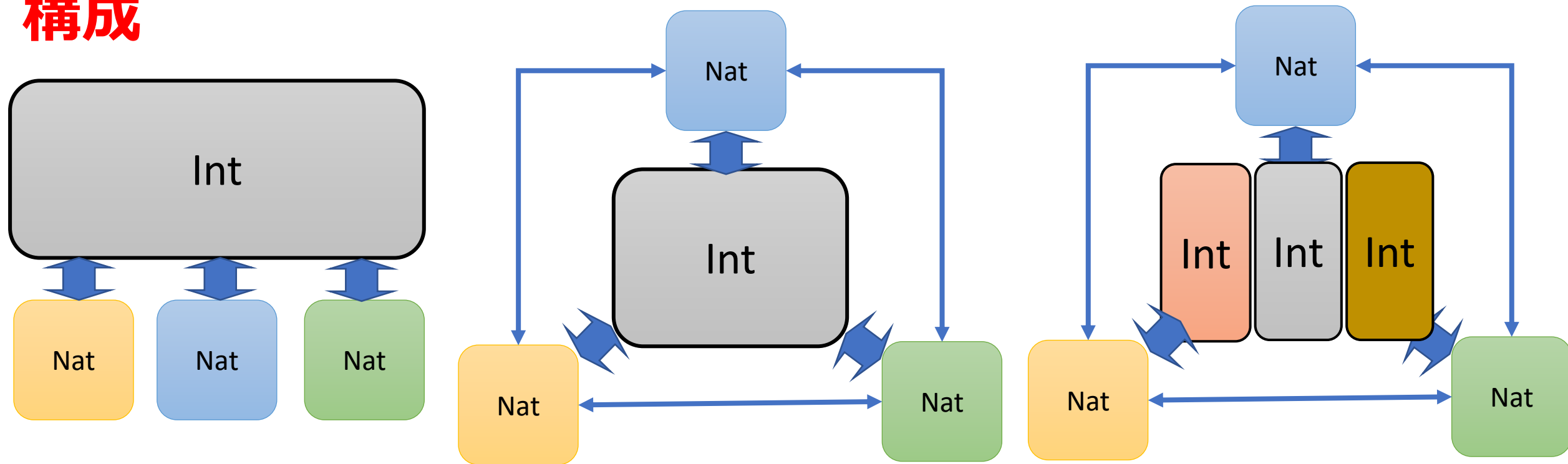


何が有用/必要?

国の適応プラットフォームにとって
国際適応プラットフォームにとって

第3部: Q3 国際適応プラットフォーム/各国のプラットフォームと国際機関との効果的な協働の方法とは?

構成



制度, 枠組み, 組織, ...



ディスカッションを
はじめましょう!!